



オーディオの基本操作.....	82	ディスクを再生する (DVD).....	94
オーディオに切り換える.....	82	DVDの設定を変える.....	96
オーディオの種類を選ぶ.....	82	ディスクを再生する	
オーディオの音声を出力したまま		(CD・MP3/WMA).....	98
ナビゲーションに切り換える.....	83	SDメモリーカードに録音する.....	100
オーディオをOFFにする.....	83	音楽CDの録音に関する設定.....	100
地上デジタルTVを見る.....	84	録音する.....	100
デジタルテレビ初期設定を行う.....	84	SDオーディオを再生する	
デジタルTVの基本操作.....	86	(SD-Audio).....	102
チャンネル番号から選局する.....	87	選曲方法を選んで再生する.....	103
データ放送を見る.....	87	プレイリストを編集する.....	104
地上デジタル放送/ワンセグを		アルバム・曲の情報を編集する.....	106
切り換える(受信モード).....	88	本機のGracenote®データベースに	
ホームモード/おでかけモードを		ないタイトル情報を取得する.....	108
切り換える.....	88	SDメモリーカードの	
おでかけモードで使用するチャンネルを		情報を確認する.....	111
設定する(おでかけスキャン).....	89	SDメモリーカードを初期化する.....	111
受信可能な放送局一覧を見る.....	89	SDビデオを再生する (SD-Video).....	112
各種信号を切り換える.....	89	iPodを再生する.....	114
オート放送局サーチを設定する.....	90	iPodを本機に接続する.....	115
郵便番号を設定する.....	90	iPodミュージックを再生する.....	116
データサービスの設定をする.....	90	iPodビデオを再生する.....	117
県域を設定する.....	90	USBオーディオを再生する	
B-CASカードの情報を見る.....	91	(USB-Audio).....	118
放送メールを見る.....	91	USBメモリーを本機に接続する.....	118
ソフト情報を見る.....	91	BLUETOOTH Audioを再生する.....	120
ホームモードで使用するチャンネルを		アスペクトを切り換える.....	121
設定する(ホームスキャン).....	91	音質・音場を調整する.....	122
ラジオ (FM/AM) を聞く.....	92	現在地画面にオーディオ映像を	
交通情報を聞く.....	93	表示する.....	124
交通情報の放送局を変更する.....	93		

オーディオの基本操作

走行中は、デジタルTV、DVD、SDビデオ、iPodビデオ、VTRの映像は表示されません。
安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いてご覧ください。
走行中でも、2台目のモニターには映像が出力されます。

オーディオに切り換える



オーディオの種類を選ぶ

切換タッチキーからオーディオを選ぶ

●選んだオーディオに切り換わります。

切換タッチキーに無いオーディオを選ぶ場合は

- 1 その他を選ぶ
 - 他のオーディオのメニューが表示されます。
- 2 切り換えたいオーディオを選ぶ
 - 選んだオーディオに切り換わります。

ステアリングスイッチで選ぶには

準備

- ステアリングスイッチ設定をしてください。(P.149)

ソース

SOURCEを割りあてたステアリングスイッチを押す

- 押すごとにオーディオが切り換わります。
- 交通情報画面(P.93)表示中は、FMに切り換わります。

※1 ディスク(DVD・CD・MP3/WMA) 挿入時のみ
 ※2 iPod/USBメモリー接続時のみ
 ※3 SDメモリーカード挿入時のみ
 ※4 録音中(P.100)は切り換わりません。

お知らせ

- ツートップメニューのオーディオショートカットから選ぶこともできます。(P.21)
- 切換タッチキー・オーディオショートカットの項目は編集できます。(P.22)
- ハンズフリー通信中(通話中、発着信中)は、切り換えることができません。

オーディオの音声を出力したままナビゲーションに切り換える

オーディオ画面表示中に「**現在地**」を押す

- ナビゲーションの音声・映像のみを出力したいときは、オーディオOFFにしてください。(下記)
- オーディオ画面に戻るには、「AUDIO」を押してください。

お知らせ

- ナビゲーションの現在地画面に、オーディオ映像を表示させることができます。(P.124)

オーディオオーディオの基本操作

オーディオをOFFにする

切換タッチキーで

OFFを選ぶ

- オーディオの音声・映像が消去されます。(オーディオOFF)

ツートップメニューから

AUDIO OFFを選ぶ

- オーディオの音声・映像が消去されます。(オーディオOFF)

オーディオをONにするには

ONを選ぶ

- オーディオがONになります。

オーディオをONにするには

AUDIO ONを選ぶ

- オーディオがONになります。

お知らせ

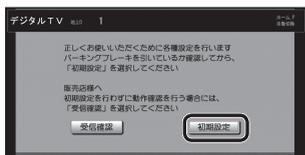
- ハンズフリー通信中(通話中、発着信中)は、切り換えることができません。

デジタルテレビ初期設定を行う

初めてデジタルTVに切り換えたときは、デジタルテレビ初期設定画面が表示されます。地上デジタル放送をご覧になる前に、必ずデジタルテレビ初期設定をしてください。

準備 ●miniB-CASカードを本機に挿入してください。(P.11)

1 初期設定を選ぶ



- 販売店にて初期設定を行わずに動作確認を行う場合には、**受信確認**を選んでください。
 - ・受信確認中は、**◀▶**で物理チャンネルを変更できます。

郵便番号設定

2 お住まいの地域の郵便番号を入力し、決定を選ぶ

県域設定

3 お住まいの都道府県を選ぶ

伊豆・小笠原諸島、南西諸島鹿児島地域を設定するには

伊豆・小笠原諸島地域

- 1 **沖縄・その他の島部**を選ぶ
- 2 **東京都島部**を選ぶ

南西諸島鹿児島地域

- 1 **沖縄・その他の島部**を選ぶ
- 2 **鹿児島県島部**を選ぶ

4 次へを選ぶ

ホームモードのチャンネル設定

5 地域を確認して、決定を選ぶ

- 受信可能なチャンネルの検索が完了すると、一覧表が表示されます。
- 地域によっては、検索に時間がかかる場合があります。(約5分)
- ◀▶**: 地域の変更

6 各チャンネルの放送局を確認して、決定を選ぶ

- 検索できない放送局があった場合は、初期設定終了後に再スキャンを行ってください。(P.91)



チャンネル番号

同じ系列局で受信できるチャンネル・複数ある場合があります。

- ・ワンセグは青色で表示されます。

チャンネルを修正するには

- 1 **▲▼**でチャンネル番号を選ぶ
- 2 **◀▶**で放送局を選ぶ

B-CASカードテスト

7 miniB-CASカードが正しく挿入されていることを確認して、テストを選ぶ

- miniB-CASカードについて→P.9、11

8 テスト結果を確認する

- OK: 正常に動作しています。
 - 次へ**を選ぶ
- NG: 正常に動作していません。
 - いいえ**を選ぶ
- どちらの結果が出た場合も、いったん手順9に進んでください。

B-CASカードテスト(続き)

9 終了を選ぶ

B-CASカードテストの結果がNGだった場合は

- 1 miniB-CASカードを取り出し、正しく挿入しなおす
 - P.11「miniB-CASカードを出し入れする」
 - miniB-CASカードは電源が入った状態で抜き差ししないでください。
 - 2 B-CASカードテストを行う
 - P.91
- それでもNGの場合は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」にご相談ください。

これで準備完了です。
地上デジタル放送をご覧になれます。

デジタルテレビ初期設定を変更・再確認するには

デジタルテレビ初期設定画面(P.84)は、一度設定すると、システムの初期化(P.149)をするまで表示されません。引越して受信地域が変わったなどの理由で、デジタルテレビ初期設定の項目を変更したい場合は、下記から設定してください。

- 郵便番号設定
 - P.90「郵便番号を設定する」
- 県域設定
 - P.90「県域を設定する」
- ホームモードのチャンネル設定
 - P.91「ホームモードで使用するチャンネルを設定する(ホームスキャン)」
- B-CASカードテスト
 - P.91「B-CASカードの情報を見る」

■周波数再編(リパック)について

2011年7月24日の地上アナログ放送終了後から、周波数再編が実施されるためチャンネル周波数が予告なく変更になる場合があります。これまで視聴できたチャンネルが映らなくなった場合は、エリアプリセットを解除(P.89)して、再スキャン(P.91)を行ってください。

■緊急警報放送(EWS)について

緊急警報放送(EWS)とは、大規模災害など緊急な出来事が発生した場合に、緊急警報放送を放送局より送信して、視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。EWSは緊急警報放送システム(Emergency Warning System)の略です。

緊急警報放送(EWS)を受信したら自動的に緊急放送に切り換わります。



- 視聴中の放送局以外で緊急警報放送を開始しても、自動的に切り換わりません。
- オーディオがデジタルTVの状態でも、地図画面やメニュー画面などを表示させている場合は、緊急警報放送を開始しても自動的に切り換わりません。
- 緊急警報放送が終了しても、もとの番組には切り換わりません。
- 走行中、緊急警報放送は表示できません。車を安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いてご覧ください。

デジタルTVの基本操作

順送りで見よう

◀▶を押す

- 1チャンネルずつ切り換わります。

デジタルTVを表示中に画面をタッチすると、選局パネル(下記)が表示されます。

- 約10秒間何も操作しないと、選局パネルは自動的に消去されます。

選局パネル

選局パネルを消去



リストから選局する

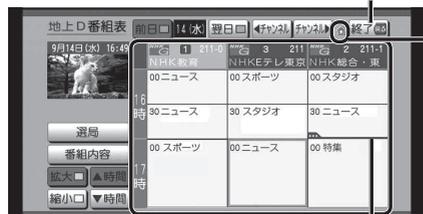
- ひとつの放送局で複数の番組が放送されているときは、同じチャンネルを続けて選ぶと、番組を切り換えられます。
- 地域によっては、同じチャンネル番号に複数の放送局(枝番号)が登録されることがあります。例:「NHK総合・大阪」、「NHK総合・京都」が1チャンネルに登録されている場合など
- ひとつの放送局が同じ時間帯に異なる番組を放送している場合でも、チャンネル番号が最も小さいチャンネルしか選べないことがあります。

カーソルパネルを表示(P.87)
デジタルTVメニューを表示(P.88)

番組表を見る

番組表

番組表を消去



選んで番組内容を見る(下記)

- 拡大/縮小**: 番組表の拡大/縮小
- ▲時間/▼時間**: 時間帯を選ぶ
- 前日/翌日**: 別の日の番組表を見る
- 番組内容**: 番組内容を見る(下記)
- ◀チャンネル/チャンネル▶**: チャンネルを選ぶ
- 選局**: 選局パネルに戻る

- ホーム**(ホームモード)/**おでかけ**(おでかけモード)を表示

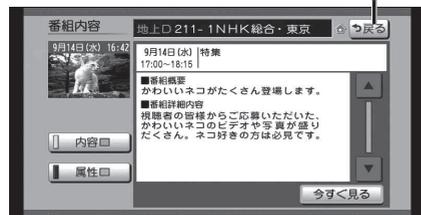
緑線部分: 放送時間の短い番組があります。
選ぶと番組が表示されます。

- 電源を入れた直後は、番組表が表示されるまで約1分かかります。
- 受信可能な放送局の番組表が表示されない場合は、その局を選ぶと表示されます。(数分かかります。)
- 地上デジタル放送は8日分まで、ワンセグは10番組まで表示されます。

番組内容を見る

番組内容画面

選局パネルに戻る



- 内容**: 番組内容画面を見る
- 属性**: 属性画面(詳細な情報)を見る
- 今すぐ見る**: 今放送中の番組を見る

お知らせ

- 番組表(上記)から**番組内容**を選んでも、番組内容が表示されます。

デジタルTV視聴中に[AUDIO]を押すと、状態表示画面が表示されます。

状態表示画面



全画面で表示

音質・音場を調整する
(P.122)

チャンネル番号から選局する

1~12を選ぶ

- 選んだ放送局に切り換わります。

お知らせ

- 同じチャンネル番号に複数の放送局(枝番号)がある場合、チャンネルを続けて選ぶと枝番号が切り換わります。

データ放送を見る

1 選局パネル(P.86)から[D]操作を選ぶ

2 カーソルパネル(下記)から[D]を選ぶ

- データ放送が表示されます。
- 情報量が多いときは、表示に時間がかかる場合があります。
- 再度[D]を選ぶとデータ放送が消去され、通常の放送に戻ります。

お知らせ

- 双方向データサービスやワンセグのデータ放送には対応していません。

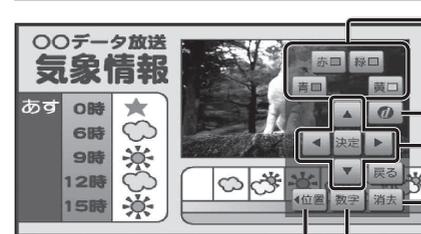
画面キーボードが表示されたら

画面キーボードで文字を入力する



- 文字入力のしかた→P.164
- 本機の画面ではなく、番組独自のキーボードが表示された場合は、データ放送の画面の説明に従ってください。

カーソルパネルの操作



項目を選択

データ放送の表示/消去

◀▶▲▼: 項目の選択/
決定: 選んだ項目に決定

カーソルパネルを消去

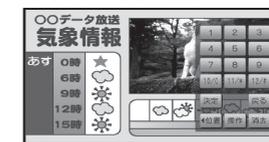
- 再度カーソルパネルを表示させるには、選局パネル(P.86)を表示させて、[D]操作を選んでください。

カーソルパネルを移動



- 位置▶**: もとの位置に戻す

数字パネルに切替



- 操作**: カーソルパネルに戻る

地上デジタルTVを見る

選局パネル(P.86)から**デジタルTVメニュー**を選べると、デジタルTVメニューが表示されます。

デジタルTVメニュー



地上デジタル放送/ワンセグを切り換える(受信モード)

受信状態が良くないときは、ワンセグに切り換えると、比較的安定した画像を見ることが出来ます。

- 受信状況によっては、切り換え時に数秒間映像が途切れることがあります。
- 放送局によっては、地上デジタル放送とワンセグの番組内容が異なる時間帯があるため、地上デジタル放送/ワンセグを切り換えた際、異なる番組になる場合があります。

自動切換 / ワンセグ / 地上D を選ぶ

- **自動切換** : 受信状態に応じて地上デジタル放送/ワンセグを自動的に切換 [お買い上げ時の設定]
 - ・番組のタイトル表示・チャンネル表示に**AUTO**と表示されます。
- **ワンセグ** : 受信状態に関わらずワンセグを受信
- **地上D** : 受信状態に関わらず地上デジタル放送を受信

ホームモード/おでかけモードを切り換える

ホームモード
デジタルテレビ初期設定の「ホームモードのチャンネル設定」(P.84)で設定された、自宅周辺で受信できるチャンネルを選べます。

- デジタルテレビ初期設定後にホームモードの放送局を変更するときは、「ホームスキャン」を行ってください。(P.91)
- ホームモード設定中に**エリア / 初期スキャン / 再スキャン**を選ぶ(P.89)と、ホームモードは解除され、おでかけモードに切り換わります。

おでかけモード

ホームモードの放送局が受信できない旅行先などでは、ホームモードとは別に、旅行先で受信できるチャンネルを登録できます。(P.89「おでかけスキャン」)

また、自車位置に応じて放送局のリストを自動的に切り換えることもできます。(P.89「エリアプリセット」)

ホーム / おでかけ を選ぶ

- **ホーム** : ホームモードに切換
- **おでかけ** : おでかけモードに切換

おでかけモードで使用するチャンネルを設定する(おでかけスキャン)

■ おでかけスキャンについて

- 放送局の系列は、ホームモード時のチャンネル設定に合わせます。
- おでかけモードでは、チャンネルの修正はできません。
- おでかけ初期スキャン/おでかけ再スキャンすると、エリアプリセットは解除されます。

自車位置に応じて放送局リストを自動で切り換える(エリアプリセット)

■ エリアを選ぶ

- 再度選ぶと、解除されます。

放送局リストを上書きしてチャンネルを記憶する(おでかけ初期スキャン)

■ 初期スキャンを選ぶ

- 現在受信できるチャンネルが検索され、以前のリストを上書きされます。
- スキャン完了後、放送局一覧(下記)が表示されます。(約10秒間)
- デジタルTV画面で**▶▶**を1秒以上押ししても、おでかけ初期スキャンできます。

放送局リストにチャンネルを追加する(おでかけ再スキャン)

■ 再スキャンを選ぶ

- 新たに受信できたチャンネルが追加されます。
- 以前おでかけモードに登録されていたチャンネルは残ります。(消去・上書きなどはされません。)
- スキャン完了後、放送局一覧(下記)が表示されます。(約10秒間)
- デジタルTV画面で**◀◀**を1秒以上押ししても、おでかけ再スキャンできます。

受信可能な放送局一覧を見る

■ 放送局一覧を選ぶ

- 本機に設定された受信可能なチャンネルが一覧表示されます。



- ワンセグは青色で表示されます。

各種信号を切り換える

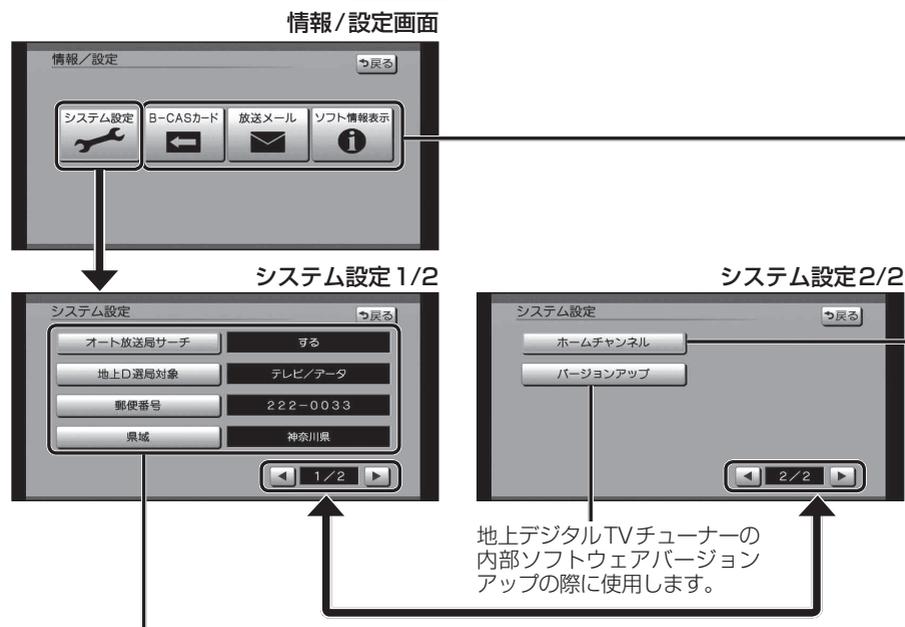
1 信号切換 を選ぶ

2 各項目を設定する

- **マルチビュー**
マルチビュー放送のときに選択できます。
・マルチビュー放送とは、同一のチャンネルで主番組と副番組の複数映像が送られる放送のことです。
- **映像**
映像が複数あるときに選択できます。
- **音声**
音声複数あるときに選択できます。
- **二重音声**
音声多重放送のときに選択できます。
- **字幕**
字幕言語が複数あるときに選択できます。
- **文字スーパー**
文字スーパーの言語を選択できます。
・文字スーパーとは、視聴者にお知らせしたい情報を、番組放送中の画面上に文字で表示させたものです。

地上デジタルTVを見る

デジタルTVメニュー(P.88)から**情報/設定**を選ぶと、情報/設定画面が表示されます。



オート放送局サーチを設定する

移動などで受信状態が悪くなった場合に、自動的に受信状態の良い中継局、または同じ系列の放送局に切り換えます。

- 1 **オート放送局サーチ**を選ぶ
- 2 **する/しない**を選ぶ
 - **する** : オート放送局サーチする [お買い上げ時の設定]
 - **しない** : オート放送局サーチしない

お知らせ

- 県境を越えて移動した場合など、オート放送局サーチ設定中でも放送局を切り換えられない場合があります。そのときは、手で選局してください。(P.86「リストから選局する」)
- 放送局によっては、同じ系列でも、番組内容が異なる時間帯があるため、オート放送局サーチで放送局を切り換えた際、異なる番組になる場合があります。

郵便番号を設定する

- 1 **郵便番号**を選ぶ
- 2 お住まいの地域の郵便番号を入力し、**決定**を選ぶ

データサービスの設定をする

テレビサービスのみを選局するか、テレビサービスと独立データサービスの両方を選局するかを設定します。

- 1 **地上D選局対象**を選ぶ^{※1}
- 2 **選局対象**を選ぶ
 - **テレビ** : テレビサービスのみ選局^{※2} [お買い上げ時の設定]
 - **テレビ/データ** : テレビサービスと独立データサービスを選局

※1 地上デジタル放送のみ設定できます。ワンセグに対しては設定できません。
 ※2 番組表もテレビサービスのみ表示されます。

県域を設定する

- 1 **県域**を選ぶ
- 2 P.84「デジタルテレビ初期設定を行う」手順3と同じ操作で都道府県を選ぶ

B-CASカードの情報を見る

B-CASカードを選ぶ

- カードの情報が表示されます。



- カードID(B-CASカード番号)は、お問い合わせの際に必要な場合があります。忘れないようにメモしておいてください。
- B-CASカードテスト: B-CASカードテストを開始

放送メールを見る

- 1 **放送メール**を選ぶ
 - 放送メールの一覧が表示されます。(最大31件)
- 2 確認したいメールを選ぶ

ソフト情報を見る

- 1 **ソフト情報表示**を選ぶ
- 2 情報を確認する
 - 文章1、文章2、文章3を選ぶと、ソフト情報が切り換わります。

ホームモードで使用するチャンネルを設定する(ホームスキャン)

- 準備**
- ホームモードに切り換えてください。(P.88)

放送局リストを上書きしてチャンネルを記憶する(初期スキャン)

引越などで受信地域が変わり、ホームモードを再設定するときに行ってください。

- 1 **ホームチャンネル**を選ぶ
- 2 **初期スキャン**を選ぶ
 

チャンネル設定画面
- 3 **地域**を選び、**決定**を選ぶ
 - 現在受信できるチャンネルが検索され、以前のリストに上書きされます。
- 4 内容を確認し、**決定**を選ぶ
 - チャンネルを修正するには →P.84 手順6

放送局リストにチャンネルを追加する(再スキャン)

自宅付近に新しく開設された放送局や、自宅に隣接した地域で受信できる放送局を追加するときなどに行ってください。

- 1 チャンネル設定画面(左記)から**再スキャン**を選ぶ
 - 新たに受信できたチャンネルが追加されます。
 - 以前ホームモードに登録されていたチャンネルは残ります。(消去・上書きなどはされません。)
- 2 画面で内容を確認し、**決定**を選ぶ
 - チャンネルを修正するには →P.84 手順6

設定したチャンネルを修正する

- 1 チャンネル設定画面(上記)から**マニュアル**を選ぶ
- 2 チャンネルを修正する →P.84 手順6
- 3 **決定**を選ぶ

ラジオ (FM/AM) を聞く

ラジオ (FM/AM) に切り換えるには
→P.82「オーディオの種類を選ぶ」

ラジオ画面



音質・音場を調整する (P.122)

自車位置に応じて放送局を切り換える (エリアモード)

エリアを選ぶ

- 自車位置の地域に応じた放送局のリストが表示されます。

エリアモードを解除するには

エリアモード中に

エリアを選ぶ

- オートプリセットしても、エリアモードは解除されません。

放送局を自動的に記憶させる (オートプリセット)

オートを2秒以上タッチする

- 受信状態の良い放送局から順に上書きされ、記憶されます。(FM/AM各6局まで)
- 受信できる放送局が見つからないときは、1周してもとの放送局に戻ります。
- オートプリセット中にオートを選ぶと、オートプリセットを中止します。

お知らせ

- AMステレオには対応していません。

手動で選局する

◀▶を押す

- 2秒以上タッチして離すと選局を始め、受信すると止まります。(シーク選局)

リストから選局する

状態に応じてリストの内容が異なります。

- **エリアモード時:**
自車位置の地域に応じた放送局
- **エリアモード解除時:**
オートプリセット・プリセットメモリーで記憶させた放送局

放送局を選ぶ

- 選んだ放送局に切り換わります。

受信中の放送局を手動でリストに記憶させる (プリセットメモリー)

準備

- 記憶させたい放送局を手動で選局してください。(上記)

記憶させたい枠 (番号) を2秒以上タッチする

- 受信中の放送局が、選んだ枠 (番号) に記憶されます。

お知らせ

- エリアモード時はプリセットメモリーできません。
- 地域によっては、リストに実際とは異なる放送局名が表示されたり、周波数のみが表示される場合があります。

交通情報を聞く

交通情報に切り換えるには
→P.82「オーディオの種類を選ぶ」

交通情報画面



オーディオを交通情報に切り換えると、交通情報を聞くことができます。
[お買い上げ時の設定: 1620 kHz]

お知らせ

- 交通情報の周波数を変更できます。(下記)

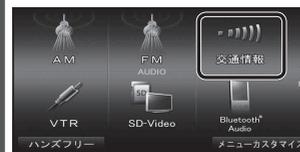
交通情報の放送局を変更する

1 オーディオメニュー (P.20) から AM を選ぶ

2 記憶させたい放送局を選ぶ

- 放送局の選びかた → P.92

3 交通情報を、2秒以上タッチする



または



- 選んだ放送局が、交通情報の周波数として記憶されます。

ディスクを再生する (DVD)

● DVDに切り換えるには→P.82「オーディオの種類を選ぶ」
● ディスクの出し入れ→P.20

本編再生中に画面をタッチすると、基本操作タッチキーが表示されます。

- DVD-VR は、DVD-Video とタッチキーが一部異なります。

お知らせ

本機で再生できるディスクについて→P.166

基本操作タッチキー：DVD-Video



全画面で表示

頭出し DVD-Video DVD-VR

◀▶ を押す

■ 停止 DVD-Video DVD-VR

- ▶ を選ぶと、再生を開始します。

⏸ 一時停止 DVD-Video DVD-VR

- ▶ を選ぶと、再生を開始します。

⏩ 早送り・早戻し DVD-Video DVD-VR

- ◀▶ をタッチし続ける
● 離すと、通常の再生に戻ります。

スロー再生 DVD-Video DVD-VR

送る

- 一時停止中に ▶▶ をタッチし続ける
● 離すと、一時停止に戻ります。

戻す (DVD-Video のみ)

- 一時停止中に ◀◀ をタッチし続ける
● 離すと、一時停止に戻ります。

トップメニュー/タイトルメニューから項目を選ぶ DVD-Video

1 トップメニュー/タイトルメニューを選ぶ

- トップメニュー/タイトルメニューが表示されます。

2 項目をタッチして選ぶ



- 内容は、ディスクによって異なります。
- どの項目を選んだかを本機が判断できない場合は、画面がズームアップされます。再度項目を選んでください。
- ダイレクトタッチメニューが表示されていないときは、ダイレクトタッチメニューに切り換えてください。(下記)
- 戻る を選ぶと画面がもとに戻ります。

項目が選びにくい場合は

1 基本操作タッチキー (P.94) から ◀▶ を選ぶ

- ダイレクトタッチメニューが表示されます。

2 ダイレクトタッチ を選ぶ



3 ▲ ▼ ◀ ▶ で項目を選び、決定 を選ぶ



基本操作タッチキー：DVD-VR

- DVD-VR の場合下記の操作もできます。



静止画を切り換える DVD-VR

画像送り を選ぶ

- 次の画像に切り換わります。
- 前の画像に切り換えることはできません。

プログラム再生/プレイリスト再生を切り換える DVD-VR

再生モード を選ぶ

- 選ぶごとに、プログラム再生/プレイリスト再生が切り換わります。

プログラム/プレイリストの頭出し DVD-VR

▲ ▼ を選ぶ

二重音声を切り換える DVD-VR

二重音声 を選ぶ

- 選ぶごとに、切り換わります。
- 主(主音声) → 副(副音声)
- ↑ 主+副(主音声+副音声) ↓

オーディオディスクを再生する (DVD)

DVDの設定を変える

基本操作タッチキー (P.94) から **設定** を選ぶと、設定タッチキーが表示されます。



アスペクトを切り換える (P.121)

DVD-Videoの場合、ディスクによっては、**リターン**を選ぶと、ディスク側で決められた位置から再生を開始する場合があります。(動作はディスクによって異なります。)

全画面で表示

字幕の切換/消去

字幕の切換

- 1 **字幕** を選ぶ
- 2 **字幕切換** を選ぶ
 - 選ぶごとに、字幕言語が切り換わります。

字幕の消去

- DVD-Video
- 1 **字幕** を選ぶ
 - 2 **字幕消** を選ぶ
 - 選ぶごとに、字幕の表示/消去が切り換わります。

DVD-VR

- 1 **字幕** を選ぶ
 - 選ぶごとに、字幕の表示/消去が切り換わります。

タイトル/プログラム/プレイリストを番号で選ぶ

- 1 **サーチ** を選ぶ
- 2 番号を入力し、**完了** を選ぶ
 - DVD-Video: 選んだ番号のタイトルの再生を開始します。
 - DVD-VR: プログラム再生中は、選んだ番号のプログラム、プレイリスト再生中は、選んだ番号のプレイリストの再生を開始します。

音声の切換

- 1 **音声** を選ぶ
- 2 **音声切換** を選ぶ
 - 選ぶごとに、音声言語が切り換わります。

アングルを切り換える [DVD-Video]

- 1 **アングル** を選ぶ
- 2 **アングル切換** を選ぶ
 - 選ぶごとに、アングルが切り換わります。
 - アングルマークを「表示」に設定する (P.97) と、アングルが切り換えられるときに が表示されます。

DVD初期設定

- 1 **DVD初期設定** を選ぶ
- 2 各項目を設定する (P.97)
 - : 前/次の項目を表示
 - **初期状態**: DVD初期設定がお買い上げ時の状態に戻る
- 3 **完了** を選ぶ

項目	操作																	
音声言語を設定する	音声 を選ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ● 「日本語」 ● 「英語」 ● 「フランス語」 ● 「スペイン語」 ● 「ドイツ語」 ● 「イタリア語」 ● 「オランダ語」 ● 「その他」 																
字幕言語を設定する	字幕 を選ぶ	<p>「その他」を選んだ場合</p> <p>言語コードを入力し、完了 を選ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● DVD言語コード一覧表 → P.172 ● 修正: 1文字削除 																
メニュー言語を設定する	ソフトメニュー を選ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ● 設定した言語がDVDに収録されていない場合や、DVDに優先言語が設定されている場合などは、本機の設定どおりに再生されない場合があります。 																
アングルマークを表示する/しないを設定する	アングルマーク を選ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ● 「表示」: アングル切換が可能なおきに、再生画面の右上に を表示。 ● 「非表示」: アングルマーク非表示。 																
自動再生する/しないを設定する	自動再生 を選ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ● 「する」: DVDを挿入すると、自動的に再生を開始する。 ● 「しない」: 自動再生しない。 																
音声ダイナミックレンジの圧縮率を設定する (ドルビーデジタル再生時のみ)	音声ダイナミックレンジ を選ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ● 「MAX」: 圧縮しない、映画館そのままのモード ● 「STD」: ソフトの制作者が小音量での視聴用として推奨するモード ● 「MIN」: 最も圧縮した、一般のテレビ放送などに近いモード <p>■ 音声ダイナミックレンジについて</p> <p>ノイズに埋もれてしまわない最小音と音割れしない最大音との音量差を圧縮する機能です。小さい音声が大音量の効果音などで消えてしまわないように設定できます。</p>																
ワイドサイズDVD再生時の映像サイズを設定する	映像出力切換 を選ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ● 「16:9 (ワイド)」*1 ● 「4:3 (パンスキャン)」 ● 「4:3 (レターボックス)」 <p>*1 通常は「16:9 (ワイド)」に設定してください。リヤモニターに4:3のモニターを接続した場合は設定を変更してください。</p>																
再生できるDVDを制限する	視聴制限 を選ぶ	<p>暗証番号 (4桁) を入力し、完了 を選ぶ</p> <p>● 修正: 1文字削除</p> <p>視聴制限レベル (左記) を選ぶ</p>																
■ 視聴制限レベル	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>子供向け</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>一般向け</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>成人向け</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> </tr> </table> <p>○ 視聴可 × 視聴不可</p>		1	2	8	子供向け	○	○	○	一般向け	×	○	○	成人向け	×	×	○	<ul style="list-style-type: none"> ● お買い上げ時は暗証番号が設定されていません。初めて視聴制限を設定するときに入力した4桁の番号が、暗証番号として設定されます。 ● 暗証番号を設定していない場合は、画面に「----」と表示されます。 ● 暗証番号を設定すると、視聴制限の設定を変更する際に暗証番号を入力する必要があります。 ● 暗証番号を忘れた場合には、修正 を10回選ぶと暗証番号を解除できます。もう一度設定しなおしてください。
	1	2	8															
子供向け	○	○	○															
一般向け	×	○	○															
成人向け	×	×	○															

ナビゲーション画面表示中にディスクを挿入すると、ナビゲーション画面を表示したまま再生します。オーディオ画面に切り換えるには、**AUDIO**を押してください。

お知らせ

● 本機で再生できるディスクについて→P.166

CD再生画面



録音設定 (P.100)

早送り・早戻し

◀▶ を押し続ける
● 離すと、通常の再生に戻ります。

曲の頭出し

◀▶ を押す

曲の情報を表示する

曲情報を選ぶ

- MP3 : アーティスト/アルバム/ジャンルを表示
- WMA : 作曲家・著作者の情報を表示

■ MP3/WMA再生画面に戻すには
■ **情報**を選ぶ

MP3/WMA再生画面



音質・音場を調整する (P.122)

プレイモード切替 (リピート/ランダム/スキャン)

1 **プレイモード**を選ぶ

2 **プレイモード**を切り換える

フォルダ	フォルダ	フォルダ
リピート	ランダム	スキャン
リピート	ランダム	スキャン

- 選択したプレイモードのインジケータが点灯します。
- 再度選ぶと、解除されます。

繰り返し再生 (リピート)

- **リピート** : 再生中の曲
- **フォルダリピート** : MP3/WMA 再生中のフォルダ内の全曲

順不同に再生 (ランダム)

- **ランダム** : 再生中のフォルダ内の全曲
- **フォルダランダム** : MP3/WMA 全フォルダの全曲

曲を探す (スキャン)

- **スキャン** : 再生中のフォルダ内の全曲を10秒ずつ再生
- **フォルダスキャン** : MP3/WMA 全フォルダの1曲目を10秒間ずつ再生

再生中のリストから選曲する

1 **再生中リスト**を選ぶ

- 再生中のフォルダ内の曲のリストが表示されます。

2 **リストから曲**を選ぶ

- 選んだ曲の再生を開始します。

フォルダの頭出し

▲ ▼ を選ぶ

- 選んだフォルダ内の先頭の曲から再生を開始します。

全てのフォルダから選曲する

1 **選曲**を選ぶ

- フォルダのリストが表示されます。

2 **リストからフォルダ**を選ぶ



- **再生** : 選んだフォルダの先頭の曲から再生を開始

3 **リストから曲**を選ぶ



- 選んだ曲の再生を開始します。
- **トップ画面へ** : MP3/WMA再生画面に戻る

タイトル表示について

■ CD

音楽CDを挿入すると、本機内の音楽データベース(「Gracenote®データベース」: Gracenote 音楽認識サービスのデータベースの抜粋)を検索し、情報があれば、アルバム名・曲名などを表示します。

- データベースに一致する情報がない場合、異なるタイトル情報を表示することがあります。そのままSDメモリーカードに録音した場合は、手でタイトル情報を編集してください。(P.106)

- CD-TEXT 情報のある音楽CDを録音すると、CD-TEXT 情報が付与されます。
- タイトルを表示して再生するまで、しばらく時間がかかる場合があります。

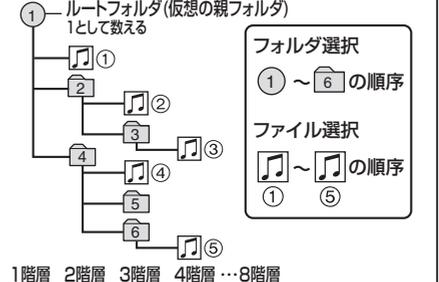
■ MP3/WMA

- 挿入したディスクにMP3/WMAのタグ情報がある場合は、曲名などを表示します。
- Gracenote データベースを利用したアルバム名・曲名などの検索表示はできません。

MP3/WMAファイル(CD-R/RW)の再生について

- MP3/WMAファイルが入ったフォルダのみ表示されます。
- ライティングソフトがフォルダやファイルを並べ替えることがあるため、希望の再生順序にならない場合があります。
- 再生の順序は、同一のCDでも、使用する機器(プレーヤー)により異なる場合があります。
- 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせにより、正常な再生や文字の表示ができない場合があります。

階層と再生順序のイメージ



SDメモリーカードに録音する

本機で音楽CDをSDメモリーカードに録音し、再生することができます。

- 本機への保存はできません。
- 地図SDHCメモリーカードには録音できません。

音楽CDの録音に関する設定

1 オーディオメニュー(P.20)から **CD** を選ぶ

2 **録音設定** を選ぶ

3 **ALL/SELECT** を選ぶ



- **ALL** : 本機に録音していない曲を、自動的に全て録音します。(CDダイレクト録音) [お買い上げ時の設定]
- **SELECT** : 曲を選んで録音します。(手動録音)

4 **完了** を選ぶ

お知らせ

- 録音中は操作できません。録音完了後または録音を停止(P.101)したあとに選んでください。

録音する

音楽CDの録音について

- 等倍速から2倍速で録音されます。本機の動作状態に応じて、速度は自動で切り換わります。
- 電源を入れた直後は、録音できるまで約15秒かかります。
- SDオーディオ規格で、最大999曲*1、アルバム数は99まで保存できます。
- アルバム/曲の情報は、Gracenoteデータベースから検索したタイトルが保存されます。
- Gracenoteデータベースにないタイトル情報は、Gracenoteサーバーにアクセスして取得できます。(P.108)
- CD-TEXT情報のある音楽CDを録音すると、CD-TEXT情報が付与されます。
- CD-R/RWに保存されたMP3/WMAファイルは、録音できません。
- ノンストップCDを録音した場合、再生時に曲間で音が途切れます。
- 録音された音楽データが正しく再生されない(音飛びする)場合などは、いったん音楽データを消去(P.105)してから、再度録音してください。
- 録音したものは、オリジナルと音質が異なる場合や、ノイズが発生する場合があります。ご容赦ください。
- 高温や低温時は、録音できない場合があります。

※1 約8分30秒を超える曲は、複数に分割して保存されるため、保存できる曲数が最大曲数よりも少なくなります。

本機で録音した音楽データは、SD-Jukeboxを使用してパソコンに保存できます。当社サイトにてユーザー登録を行うと、SD-Jukeboxを無償でダウンロードできます。詳しくは、下記サイトをご覧ください。
<http://panasonic.jp/navi/>

- 「ユーザー登録ハガキ」(別添付)でご登録された場合でも、サイトでの登録が必要です。
- SD-Jukeboxをご使用の際は、著作権保護機能対応のSDメモリーカードライターが必要です。

準備

- SDメモリーカードを本機に挿入してください。(P.13)
- 音楽CDの録音に関する設定→P.100

1 音楽CDを挿入する(P.20)

2 **録音開始** を選ぶ

3 録音設定が「ALL」の場合 (CDダイレクト録音)

(1曲も録音されていないCDの場合のみ) **はい** を選ぶ

■録音を停止するには
CD再生画面から **録音停止** を選ぶ



お知らせ

- 地図画面からも、録音の開始や停止ができます。

録音状態表示について



録音済み曲数 02/13 録音対象の曲数

録音の進捗状況(1曲ごと)

- **REC** (REC) : 録音中*2
- **STOP** (STOP) : 録音停止中*2

※2 地図画面にも表示されます。

お願い

- 録音中にエンジンを切ったり、SDメモリーカードやCDを取り出す場合は、録音を停止してください。

録音設定が「SELECT」の場合 (手動録音)

1 リストから曲を選び、**完了** を選ぶ

- 複数の曲を選ぶこともできます。(再度選ぶと、解除されます。)
- **全選択** : 全曲を選択
- **全解除** : 選んだ曲を全て解除

2 (1曲も録音されていないCDの場合のみ) **はい** を選ぶ

■録音を停止するには
CD再生画面(左記)から **録音停止** を選ぶ

CD録音時の制限について

- 本機の動作が遅くなる場合があります。
- 録音中に車のACCをOFFにすると、録音は停止されます。*3
- 録音中は、SDオーディオ、SDビデオに切り換えることができません。
- 録音中にCD以外のオーディオ(FM、AM、デジタルTV、交通情報、iPod、USB-Audio、VTR、Bluetooth® Audio)やAUDIO OFFに切り換えても録音は継続されます。
 - ・CD以外のオーディオに切り換えた状態で録音しているときは、音楽CD再生の音声は聞こえません。
 - ・CDに戻ると、録音中の曲が再生されます。
- 録音中は下記の操作ができません。
 - ・録音中の曲以外の再生
 - ・頭出し
 - ・早送り/早戻し
 - ・リピート/ランダム/スキャン
 - ・録音設定

※3 録音を停止された曲のデータは破棄されます。

SDオーディオを再生する (SD-Audio)

SDオーディオに切り換えるには
→P.82「オーディオの種類を選ぶ」

準備

- 音楽データ*1が保存されたSDメモリーカードを本機に挿入してください。(P.113)

お知らせ

- 本機で再生できるファイル形式について →P.168
- SD-Jukebox(P.100)で保存された曲は、本機で録音された曲であっても、アルバム/アーティスト/ジャンルからの選曲ができません。

*1 本機で録音された音楽データ、またはSD-Jukebox(P.100)などで保存された音楽データ

早送り・早戻し

⏮ ⏭ を押し続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

曲の頭出し

⏮ ⏭ を押す

SD-Audio再生画面



SD-Audio編集画面を表示(P.104)

音質・音場を調整する(P.122)

SDメモリーカード情報画面を表示(P.111)

アルバム/プレイリストの頭出し

▲ ▼ を選ぶ

- 選んだアルバム/プレイリスト内の先頭の曲から再生を開始します。

プレイモード切替 (リピート/ランダム/スキャン)

1 プレイモードを選ぶ

2 プレイモードを切り換える



- 選択したプレイモードのインジケーターが点灯します。
- 再度選ぶと、解除されます。
- 条件は選曲方法(P.103)によって異なります。

繰り返し再生 (リピート)

- **アルバムリピート** *2: 再生中のアルバム内の全曲
- **プレイリストリピート** *2: 再生中のプレイリスト内の全曲
- **リピート**: 再生中の曲

順不同に再生 (ランダム)

- **アルバムランダム** *2: 全アルバムの全曲
- **プレイリストランダム** *2: 全プレイリストの全曲
- **ランダム**: 再生中のフォルダ内の全曲

曲を探す (スキャン)

- **アルバムスキャン** *2: 全アルバムの1曲目を10秒間ずつ再生
- **プレイリストスキャン** *2: 全プレイリストの1曲目を10秒間ずつ再生
- **スキャン**: 再生中のフォルダ内の全曲を10秒ずつ再生

選曲方法を選んで再生する

選曲を選ぶと、選曲画面が表示されます。



プレイリストを選んで再生する (プレイリスト再生)

準備

- プレイリストを作成してください。(P.104)

1 プレイリストを選ぶ

- ### 2 リストからプレイリストを選ぶ
- 選んだプレイリストの先頭の曲から再生を開始します。

お知らせ

- SD-Jukeboxなどで作成したプレイリストも再生できます。

全ての曲から選んで再生する (ALL再生)

1 ALLを選ぶ

- SDメモリーカード内の全曲のリストが表示されます。

2 リストから曲を選ぶ

- 選んだ曲を再生します。
- 録音日の古い順にリストが表示されます。

再生中のリストから選曲する

1 再生中リストを選ぶ

- 再生中のフォルダ内の曲のリストが表示されます。

2 リストから曲を選ぶ

- 選んだ曲の再生を開始します。

アルバムを選んで再生する (アルバム再生)

■ アルバムから選ぶ場合

1 アルバムを選ぶ

2 リストからアルバムを選ぶ

- 選んだアルバムの先頭の曲から再生を開始します。

■ アーティストから選ぶ場合

1 アーティストを選ぶ

2 リストからアーティストを選ぶ

- 選んだアーティストのアルバムリストが表示されます。

3 リストからアルバムを選ぶ

- 選んだアルバムの先頭の曲から再生を開始します。

- **トップ画面へ**: SD-Audio再生画面に戻る

■ ジャンルから選ぶ場合

1 ジャンルを選ぶ

2 リストからジャンルを選ぶ

- 選んだジャンルのアルバムリストが表示されます。

- ジャンル情報の無いアルバムは、**その他**に分類されます。

3 リストからアルバムを選ぶ

- 選んだアルバムの先頭の曲から再生を開始します。

- **トップ画面へ**: SD-Audio再生画面に戻る

お知らせ

- 同一のアルバムタイトルが複数存在する場合は、録音日の古い順にリストが表示されます。

SDオーディオを再生する (SD-Audio)

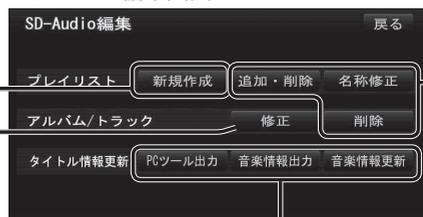
プレイリストを編集する

SD-Audio再生画面(P.102)から**編集**を選ばると、SD-Audio編集画面が表示されます。

お知らせ

- SDオーディオの編集を行うと、ALL再生(P.103)に切り換わります。

SD-Audio編集画面



アルバム・曲の情報を編集する(P.106)

本機のGracenoteデータベースにないタイトル情報を取得する(P.108)

プレイリストを作成する

SDメモリーカードに保存した曲の中から、目的に合わせて最大99のプレイリスト(ひとつのプレイリストあたり最大99曲)を作成できます。

1 SD-Audio編集画面(上記)から**新規作成**を選ぶ

2 名称を入力して、**完了**を選ぶ

- 全角16文字(半角32文字)まで
- 文字入力のしかた→P.164

3 表示するリストを選ぶ

- アルバム**: アルバムをリスト表示
- アーティスト**: アーティスト名をリスト表示
- ジャンル**: ジャンルをリスト表示
- プレイリスト**: プレイリストを表示
- ALL**: 全ての曲をリスト表示(→手順6へ)

4 (アーティスト/ジャンルを選んだ場合)**登録したい曲のアーティスト/ジャンル**を選ぶ

- 選んだアーティスト/ジャンルのアルバムリストが表示されます。

5 リストから**アルバム/プレイリスト**を選ぶ

- 曲リストが表示されます。

6 登録したい曲を選ぶ

- 複数の項目を選ぶこともできます。(再度選ぶと、解除されます。)
- 全選択**: 全曲を選択
- 全解除**: 選んだ曲を全て解除

7 登録候補を確認して、**登録**を選ぶ

8 続けて曲を追加する場合

はいを選ぶ

- 手順3から同じ操作を繰り返します。

登録を完了する場合

いいえを選ぶ

- SD-Audio編集画面に戻ります。

プレイリストに曲を追加する

1 **追加・削除**を選ぶ

2 **プレイリスト**を選ぶ

3 **トラックを追加**を選ぶ

4 P.104「プレイリストを作成する」手順3~8と同じ操作で曲を追加する

プレイリストの曲を削除する

プレイリストから曲を消去しても、アルバムからは消去されません。

1 **追加・削除**を選ぶ

2 **プレイリスト**を選ぶ

3 **トラックを削除**を選ぶ

4 リストから**曲**を選び、**削除**を選ぶ

- 複数の項目を選ぶこともできます。(再度選ぶと、解除されます。)
- 全選択**: 全曲を選択
- 全解除**: 選んだ曲を全て解除

5 **はい**を選ぶ

プレイリストを削除する

1 **追加・削除**を選ぶ

2 **プレイリスト**を選ぶ

3 **このプレイリストを削除**を選ぶ

4 **はい**を選ぶ

プレイリストの名称を変更する

1 SD-Audio編集画面(P.104)から**名称修正**を選ぶ

2 **プレイリスト**を選ぶ

3 名称を入力して、**完了**を選ぶ

- 全角16文字(半角32文字)まで
- 文字入力のしかた→P.164

アルバム/曲を削除する

本機で録音したアルバム、曲を選んで削除します。

- 一度消去するとともに戻せません。消去は十分確認のうえ行ってください。
- 消去中はエンジンを切らないでください。本機が正しく動作しなくなる場合があります。

1 SD-Audio編集画面(P.104)から**アルバム/トラックの削除**を選ぶ

2 表示するリストを選ぶ

- アルバム**: アルバムをリスト表示
- アーティスト**: アーティスト名をリスト表示
- ジャンル**: ジャンルをリスト表示

3 (アーティスト/ジャンルを選んだ場合)**削除したいアルバム・曲を含むアーティスト/ジャンル**を選ぶ

- アルバムのリストが表示されます。

4 リストから**アルバム**を選ぶ

- アルバムのタイトル情報が表示されます。

5 **アルバムを削除する場合**

1 **このアルバムを削除**を選ぶ

2 **はい**を選ぶ

曲を削除する場合

トラックを削除を選ぶ

→左記「プレイリストの曲を削除する」手順4へ

お知らせ

- SD-Jukeboxなど、本機以外で録音した音楽データは削除できません。
- 消去した曲がプレイリスト(P.104)に登録されている場合は、プレイリストからも消去されます。

SDオーディオを再生する (SD-Audio)

アルバム・曲の情報を編集する

- SD-Audio編集画面(P.104)からアルバム/トラックの**修正**を選ぶ
- アルバムを探す
 - アルバムから探す場合
 - アルバム**を選ぶ
 - アーティスト名から探す場合
 - アーティスト**を選ぶ
 - リストからアーティストを選ぶ
 - ジャンルから探す場合
 - ジャンル**を選ぶ
 - リストからジャンルを選ぶ

3 アルバムの情報を編集する場合

- アルバムを選ぶ→右記へ
- アルバム修正画面が表示されます。



曲の情報を編集する場合

- アルバム修正画面(上記)から**トラックを修正**を選ぶ
- 曲を選ぶ→右記へ
 - トラック修正画面が表示されます。



お知らせ

- SD-Jukeboxなど、本機以外で録音した音楽データは編集できません。
- 手動で編集したアルバム・曲の情報は、Gracenoteデータベースには反映されません。

項目	操作		
	操作	操作	完了を選ぶ
アルバム名を変更する	アルバム を選ぶ	アルバム名を入力し、 完了 を選ぶ ●全角16文字(半角32文字)まで	完了 を選ぶ
アルバムのアーティスト名を変更する	アルバムアーティスト を選ぶ	マニュアル入力する を選ぶ アーティスト名を入力し、 完了 を選ぶ ●全角16文字(半角32文字)まで	完了 を選ぶ
		リストから選択する を選ぶ リストからアーティストを選ぶ	
アルバムのジャンルを変更する	ジャンル を選ぶ	アルバムのジャンルを選ぶ	完了 を選ぶ
Gracenoteデータベースを使って、タイトル情報を取得する ●アルバムと曲のタイトル情報が更新されます。 (アルバムまたは曲のどちらか一方に、タイトル情報を反映させることはできません。)	アルバム情報再更新 を選ぶ ●本機や、タイトル情報を保存したSDメモリーカード内のデータベースからタイトル情報を再取得します。	(複数の候補がある場合のみ) リストからアルバム名を選ぶ	登録 を選ぶ 完了 を選ぶ

項目	操作		
	操作	操作	完了を選ぶ
曲名を変更する	トラック を選ぶ	曲名を入力し、 完了 を選ぶ ●全角16文字(半角32文字)まで	完了 を選ぶ
曲のアーティスト名を変更する	トラックアーティスト を選ぶ	マニュアル入力する を選ぶ アーティスト名を入力し、 完了 を選ぶ ●全角16文字(半角32文字)まで	完了 を選ぶ
		リストから選択する を選ぶ リストからアーティストを選ぶ	

SDオーディオを再生する (SD-Audio)

本機のGracenote®データベースにないタイトル情報を取得する

新譜などGracenoteデータベースにないタイトルの情報を、Gracenoteサーバーにアクセスして取得できます。

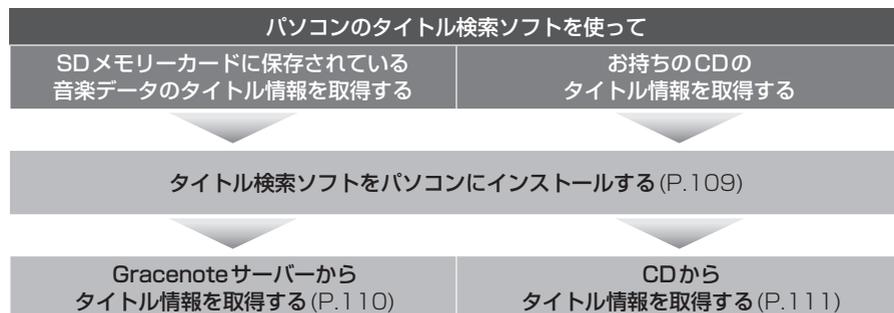
■タイトル検索ソフトの動作環境

- OS : Windows® 98 SE/Windows® Me/
Windows® 2000 Professional Service Pack 4/
Windows® XP(Home/Professional) Service Pack 3/
Windows Vista®(Ultimate/Business/Home Basic/Home Premium) Service Pack 1/
Windows® 7(Ultimate/Professional/Home Premium)
- CPU : Intel MMX Pentium 266 MHz以上(推奨Pentium II 300 MHz以上)
- メモリ : 64 MB以上(推奨128 MB以上)
- HDD : 200 MB以上の空き容量
- インターネット接続環境 : 推奨64 kbps以上
- ディスプレイ/ビデオボード : 解像度 : 推奨800×600ピクセル
表示色 : 推奨65 000色以上
- その他 : SDメモリーカードリーダー/ライターと、空き容量が4 MB以上のSDメモリーカードが別途必要です。

お知らせ

- タイトル検索ソフトは、必ず本機のPCツール出力(P.109)で保存されるSTFinder.exeを使用してください。
- タイトル検索ソフトについては、PCツール出力(P.109)時に保存されるテキストファイル(README.TXT)も併せてご覧ください。

ご利用までの流れ



タイトル検索ソフトをパソコンにインストールする

準備

- SDメモリーカードを本機に挿入してください。(P.13)

1 本機での操作

SD-Audio再生画面(P.102)から
編集を選ぶ

2 PCツール出力を選ぶ

- SDメモリーカードに、タイトル検索ソフト(STFinder.exe)と管理情報(REGIST.DAT)、テキストファイル(README.TXT)が保存されます。
出力先フォルダ :
PRIVATE≠CUSTOM

3 SDメモリーカードを本機から取り出す

4 パソコンでの操作

取り出したSDメモリーカードをパソコンに挿入し、パソコン内の任意のフォルダにコピーする

- タイトル検索ソフト(STFinder.exe)と管理情報(REGIST.DAT)は、必ず同じフォルダに保存してください。
- 初めて利用する場合は、管理者(Administratorsのメンバー)としてWindowsにログオンしてください。管理者権限がないと利用できません。(Windows Vista®/Windows® 7では管理者権限がなくても利用可能です。)

5 コピーしたタイトル検索ソフトのアイコンをダブルクリックする

- タイトル検索ソフトが起動します。

6 「接続設定」を選ぶ

7 Internet Explorerをお使いの場合

「Internet Explorerの設定を使用する」にチェックする

Internet Explorer以外のブラウザをお使いの場合

「Internet Explorerの設定を使用する」のチェックを解除し、各種項目(下記)を設定する

- 「LAN接続を使用」
LAN接続の場合にチェックします。
- 「ダイヤルアップ接続を使用」
ダイヤルアップ接続の場合にチェックし、接続先を選んでください。
・「タイトル取得の完了時に回線を自動で切断」
タイトル取得完了時に、自動的に回線を切断する場合にチェックします。
- 「プロキシサーバーを使用」
プロキシサーバーを使用する場合にチェックし、サーバーのアドレスとポート番号を入力してください。
- インターネット接続設定の詳細については、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。

8 「設定」を選ぶ

SDオーディオを再生する (SD-Audio)

本機のGracenote®データベースにないタイトル情報を取得する(続き)

Gracenoteサーバーからタイトル情報を取得する

準備

- タイトル検索ソフトをパソコンにインストールしてください。(P.109)
- SDメモリーカードを本機に挿入してください。(P.13)

1 本機での操作

SD-Audio再生画面(P.102)から
編集を選ぶ

2 音楽情報出力を選ぶ

- PCツール(P.109)を一度も出力していない場合は、出力確認画面が表示されます。**はい**を選んでください。PCツールがSDメモリーカードに保存されます。

3 タイトル情報を取得したいアルバムを選び、完了を選ぶ

- 複数のアルバムを選ぶこともできます。(再度選ぶと、解除されます。)
- タイトル無し全選択**:
タイトルが付与されていないアルバムを全て選択
- 全解除**:
選んだアルバムを全て解除

4 はいを選ぶ

- SDメモリーカードに、取得するための情報が保存されます。
 - ・出力先フォルダ:
PRIVATE≠CUSTOM
 - ・ファイル名: EXPORT.DAT

5 SDメモリーカードを本機から取り出す

■ Gracenoteサーバーにアクセスして
タイトル情報を取得する

6 パソコンでの操作

取り出したSDメモリーカードを
パソコンに挿入する

7 パソコンのタイトル検索ソフトを起動し、「参照」を選ぶ

8 SDメモリーカードに保存した「EXPORT.DAT」を選び、「開く」を選ぶ

9 「FileからCDDDB検索」を選ぶ

- Gracenoteサーバーにアクセスし、検索を開始します。
- モデム接続の場合は、ダイヤルアップ接続の確認画面が表示されます。接続先、ユーザー名、パスワードを入力してください。

10 (複数の候補がある場合のみ) アルバム名を選び、「選択」を選ぶ

11 ダウンロードが完了したら「保存」を選ぶ

- 「EXPORT.DAT」と同じ階層に、取得したタイトル情報が保存されます。(ファイル名: import.dat)
- 必ずSDメモリーカードの「PRIVATE≠CUSTOM」フォルダに保存してください。

12 OKを選ぶ

13 SDメモリーカードをパソコンから取り出す

■ 取得したタイトル情報を更新する

14 本機での操作

取り出したSDメモリーカードを
本機に挿入する

15 SD-Audio再生画面(P.102)から**編集**を選ぶ

16 **音楽情報更新**を選ぶ

17 **はい**を選ぶ

- タイトル情報が更新されます。

お知らせ

- タイトル情報を更新したSDメモリーカードを本機に挿入していない場合、更新した情報は表示されません。

CDからタイトル情報を取得する

パソコンにインストールしたタイトル検索ソフトを使って、CDからタイトル情報を取得できます。取得したタイトル情報を更新すると、CDを録音する際、タイトル情報を付与できます。

準備

- タイトル検索ソフトをパソコンにインストールしてください。(P.109)

1 パソコンでの操作

SDメモリーカードを
パソコンに挿入する

2 タイトル情報を取得したいCDをパソコンに挿入する

3 パソコンのタイトル検索ソフトを起動する

4 CDを挿入したドライブを選ぶ

5 「CDからCDDDB検索」を選ぶ

6 (複数の候補がある場合のみ) アルバム名を選び、「選択」を選ぶ

7 ダウンロードが完了したら「保存」を選ぶ

8 タイトル情報の保存先を選び、「OK」を選ぶ

- 必ずSDメモリーカードの「PRIVATE≠CUSTOM」フォルダに保存してください。

9 OKを選ぶ

10 本機での操作

取得したタイトル情報を本機に
保存する(P.110 手順14~17)

SDメモリーカードの情報を確認する

SDメモリーカード内の容量、プレイリスト/アルバム数、収録トラック数を確認できます。

1 SD-Audio再生画面(P.102)から**SD情報**を選ぶ

2 SDメモリーカードの情報を確認する



SDメモリーカード情報画面

SDメモリーカードを初期化する

本機以外の機器でSDメモリーカードを初期化したり、市販のSDメモリーカードを使用した場合、本機で使用できないことがあります。そのときは、本機で初期化してから使用してください。

- 初期化により消去されたデータはもとに戻せません。初期化は十分確認のうえ行ってください。
- 初期化すると、全てのデータが消去されます。バックアップをとるなどしてください。
- 初期化中は、絶対にSDメモリーカードを本機から取り出さないでください。SDメモリーカードが故障するおそれがあります。

1 SDメモリーカード情報画面(上記)から**初期化する**を選ぶ

2 **はい**を選ぶ

SDビデオを再生する (SD-Video)

SDビデオに切り換えるには
→P.82「オーディオの種類を選ぶ」

準備

- ビデオファイルが保存されたSDメモリーカードを本機に挿入してください。(P.13)
- 本機で再生できるファイル形式について→P.168

再生リスト



動画の再生

- 1 リストから動画を選ぶ**
 - 分割された動画は、1分割ごとにリスト表示されます。
- 2 再生開始を選ぶ**
 - 約20秒間何も操作しないと、自動的に再生が開始されます。
 - プレビューをタッチしても再生が開始されます。

動画の詳細情報を見る

- 1 リストから動画を選ぶ**
- 2 詳細情報を選ぶ**
 - 動画の詳細情報が表示されます。



お知らせ

- 本機は、チャプターマークには対応していません。
- 録画機器が指定する再生順どおりに再生されない場合があります。
- 録画された番組名の文字が正常に表示されない場合があります。
- 一部の漢字は、他とは異なる形状で表示される場合があります。
- 録画については、録画機器の取扱説明書をお読みください。

再生画面にタッチすると、
基本操作タッチキーが表示されます。



- タッチキー消去
- アスペクトを切り換える (P.121)

再生を停止して再生リストに戻る

- /リストを選ぶ
- 再生を停止し、再生リストに戻ります。

早送り・早戻し

- ◀▶をタッチし続ける
- 離すと、通常の再生に戻ります。

頭出し

- ◀▶を選ぶ

一時停止

- 再生中に||を選ぶ
- ▶を選ぶと、再生を開始します。

音声/字幕を切り換える

- 1 音声/字幕を選ぶ**
- 2 各項目を設定する**
 - 二重音声：
音声多重放送のときに選択できます。
 - 字幕：
字幕言語が複数あるときに選択できます。

SDビデオ再生中に[AUDIO]を押すと、
状態表示画面が表示されます。



- 全画面で表示
- 音質・音場を調整する (P.122)

適合機種 (2012年4月現在 接続確認済み)

Made for

iPod touch 第4世代	iPod nano 第6世代	iPhone 4S
iPod touch 第3世代	iPod nano 第5世代	iPhone 4
iPod touch 第2世代	iPod nano 第4世代	iPhone 3GS
iPod touch 第1世代	iPod nano 第3世代	iPhone 3G
iPod classic	iPod nano 第2世代	
iPod 第5世代	iPod nano 第1世代	

最新の適合機種および接続情報については、
当社サイト (<http://panasonic.jp/navi/>) をご覧ください。

お願い

- iPodのリモコンやヘッドホンなど、iPodのアクセサリを接続しないでください。正しく動作しない場合があります。
- オーディオがiPodのときに、iPodの取り付け・取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因となる場合があります。
- コネクターは確実に差し込んでください。
- iPodの取り付け・取り外しをするときにケーブルを引っ張らないでください。
- iPodおよびケーブルは、運転や乗り降りの妨げにならないように固定してください。
- iPodを車内の温度が高くなる場所に放置しないでください。
- ACCをOFFにしたあとは、必ずiPodを取り外してください。iPodの電源が切れず、iPodの電池を消耗することがあります。
- iPodが正しく動作しないときは、本機からiPodを取り外してリセットし、再度接続してください。
- iPodに楽曲を追加する操作を行う場合は、iPodを本機から取り外してください。
- iPodの説明書もよくお読みください。

お知らせ

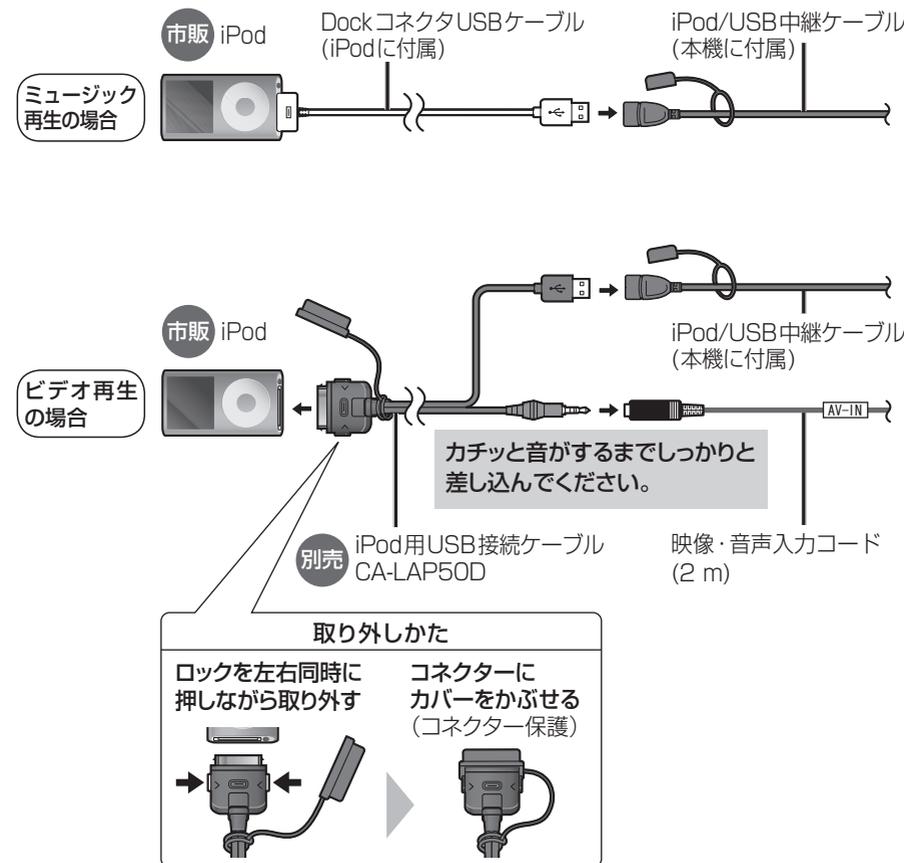
- 本機と接続中、iPodは充電されます。
- iPodの動作状態によっては、充電に時間がかかる、または充電されない場合があります。
- iPodの動作やバージョンアップされるiPod、ソフトへの対応は、保証いたしかねます。
- 本機と接続してiPodを使用中に、iPodのデータが消失した場合は、その補償はいたしかねます。
- iPodは、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPodまたはiPhoneをケーブルで接続すると、ケーブルでの接続が優先されるため、iPhoneでおでかけナビサポートを利用することはできません。

iPodを本機に接続する

- 必ず本機に付属されているiPod/USB中継ケーブルを使用してください。他のナビゲーションに付属されているケーブルを使用すると、正しく動作しない場合があります。
- 本機でiPodビデオを視聴するには、別売のiPod用USB接続ケーブル(CA-LAP50D)が必要です。他のケーブルを使用すると、正しく動作しない場合があります。

お知らせ

- 接続中は、iPod本体では操作できません。
- USBメモリと同時に接続することはできません。
- iPodは、電源を入れたうえで本機と接続してください。
- ケーブルで接続するiPhoneをBLUETOOTH Audio機器としても登録している場合は、iPhoneを操作して音声出力先を「Dockコネクタ」に設定してください。機種やOSのバージョンによっては、音声出力先の設定を切り換えられない場合があります。



iPodミュージックを再生する

iPodミュージック再生画面



一時停止

再生中に **||** を選ぶ

- **▶** を選ぶと、再生を開始します。

プレイモード切換(リピート/シャッフル)

1 プレイモードを選ぶ

2 プレイモードを切り換える



- 選択したプレイモードのインジケータが点灯します。

繰り返し再生(リピート)

- **||** : 再生中の曲
- 再度選ぶと、解除されます。

順不同に再生(シャッフル)

- **||** : 再生中のリスト*1内の全曲
- **||** : 全てのアルバム(アルバム単位でシャッフル)
- 選ぶごとに、切り換わります。



- シャッフルのしかたは、iPodの仕様に準じます。

*1 リストの内容は、選曲方法(右記)によって異なります。

再生中のリストから選曲する

1 再生中リストを選ぶ

- 再生中のフォルダ内の曲のリストが表示されます。

2 リストから曲を選ぶ

- 選んだ曲の再生を開始します。

アルバムアートワーク

- アルバムアートワーク表示サイズは、iPodの仕様により異なります。
- 下記の場合、アルバムアートワークは表示されません。

- 接続したiPod内にアルバムアートワークがない
- アルバムアートワーク取得中
- 本機でアルバムアートワークを表示できないiPodを接続している

早送り・早戻し

⏮ **⏭** を押し続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

頭出し

⏮ **⏭** を押す

選曲方法を選んで再生する

1 選曲を選ぶ

2 選曲方法(下記)のタブを選ぶ

- | | |
|-------------|------------|
| ● プレイリスト | ● アーティスト |
| ● アルバム | ● 曲 |
| ● Podcast*2 | ● オーディオブック |
| ● ジャンル | ● 作曲者 |



- **⏮**/**⏭**: タブ画面の切換

*2 ポッドキャスト(インターネット上で配信されている番組など)を楽しむことができます。

3 曲/エピソードのリストが表示されるまで、リストの項目を選ぶ

- **ALL** : 表示している全項目の下の階層を表示

4 リストから曲を選ぶ

- 選んだ曲の再生を開始します。
- **完了** : iPodミュージック再生画面に戻る

お知らせ

- リストの並び順は、iPodの仕様に準じます。

iPodビデオを再生する

- iPodビデオを再生するには、別売のiPod用USBケーブル(CA-LAP50D)が必要です。

iPodビデオ再生画面

iPodミュージック再生(P.116)



全画面で表示

アスペクトを切り換える(P.121)

音質・音場を調整する(P.122)

リストから選ぶ

1 ビデオ選択を選ぶ

- フォルダ内のビデオのリストが表示されます。

2 ビデオの種類を選ぶ

- ### 3 ビデオのリストが表示されるまで、リストの項目を選ぶ
- **すべて** : 表示している全項目の下の階層を表示

4 リストからビデオを選ぶ

- 選んだビデオの再生を開始します。

お知らせ

- リストの並び順は、iPodの仕様に準じます。

再生中のリストから選ぶ

1 再生中リストを選ぶ

- 再生中のフォルダ内のビデオのリストが表示されます。

2 リストからビデオを選ぶ

- 選んだビデオの再生を開始します。

一時停止

- **||** を選ぶと、再生を開始します。

早送り・早戻し

⏮ **⏭** をタッチし続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

頭出し

⏮ **⏭** を押す

お知らせ

- 再生中にACCをOFFにすると、次回iPodビデオに切り換えたときに続きから再生されない場合があります。
- iPodのTV出力設定を「OFF」に設定していても、本機から取り外すと「ON」に切り換わっている場合があります。

USBメモリーを本機に接続する

市販 USBメモリー



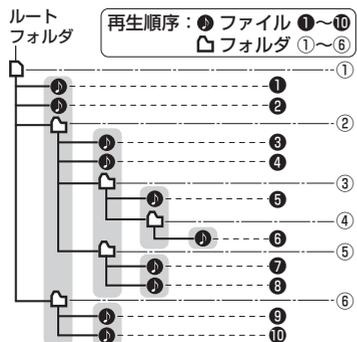
お願い

- オーディオがUSBオーディオのときに、USBメモリーの取り付け・取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因となる場合があります。
- コネクタは確実に差し込んでください。また、USBメモリーの取り付け・取り外しをするときにケーブルを引っ張らないでください。
- USBメモリーおよびケーブルは、運転や乗り降りの妨げにならないように固定してください。
- USBメモリーを車内の温度が高くなる場所に長時間放置しないでください。
- 正しく動作しないときは、USBメモリーを本機から外して、約10秒たってから再度接続してください。

MP3/WMAファイル(USBオーディオ)の再生について

- MP3/WMAファイルが入ったフォルダのみ表示されます。

■階層と再生順序のイメージ



同じ階層(■で囲まれた範囲)内のファイル・フォルダは、書き込まれた日時順に並べ替えて再生します。(下記)



お知らせ

- 本機で再生できるUSBメモリーについて →P.169
- 長時間使用すると、USBメモリーが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

USB-Audio再生画面



音質・音場を調整する (P.122)

一時停止

再生中に **⏸** を選ぶ

- **▶** を選ぶと、再生を開始します。

早送り・早戻し

⏮ **⏭** を押し続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

曲の頭出し

⏮ **⏭** を押す

フォルダの頭出し

▲ **▼** を選ぶ

- 選んだフォルダ内の先頭の曲から再生を開始します。

プレイモード切換 (リピート/ランダム/スキャン)

1 プレイモードを選ぶ

2 プレイモードを切り換える



- 選択したプレイモードのインジケータが点灯します。
- 再度選ぶと、解除されます。

繰り返し再生 (リピート)

- フォルダリピート**: 再生中のフォルダ内の全曲
- リピート**: 再生中の曲

順不同に再生 (ランダム)

- フォルダランダム**: 全フォルダの全曲
- ランダム**: 再生中のフォルダ内の全曲

曲を探す (スキャン)

- フォルダスキャン**: 全フォルダの1曲目を10秒間ずつ再生
- スキャン**: 再生中のフォルダ内の全曲を10秒ずつ再生

全てのフォルダから選曲する

1 選曲を選ぶ

- フォルダのリストが表示されます。

2 リストからフォルダを選ぶ



- 再生▶**: 選んだフォルダの先頭の曲から再生を開始

3 リストから曲を選ぶ



- 選んだ曲の再生を開始します。
- トップ画面へ**: USB-Audio再生画面に戻る

再生中のリストから選曲する

1 再生中リストを選ぶ

- 再生中のフォルダ内の曲のリストが表示されます。

2 リストから曲を選ぶ



- 選んだ曲の再生を開始します。

準備

- BLUETOOTH対応機器を本機に登録してください。(P.126)

Bluetooth® Audio再生画面



早送り・早戻しする

◀▶ を押し続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

曲の頭出し

◀▶ を押す

お知らせ

- docomo P-03Cでは、早送り・早戻しはできません。
- 接続するBLUETOOTH Audio機器によっては、本機から再生/一時停止、早送り・早戻し、頭出しができない場合があります。そのときは、BLUETOOTH Audio機器側で操作してください。
- 接続するBLUETOOTH Audio機器によっては、アルバム名/トラック名/アーティスト名は表示されません。
- BLUETOOTH Audioを再生するiPhoneを、ケーブルでも接続している場合には、iPhoneを操作して音声出力先を「Strada」に設定してください。機種やOSのバージョンによっては、音声出力先の設定を切り換えられない場合があります。

アスペクトを切り換える

1 デジタルTV 再生中の場合

- 1 画面をタッチする
- 2 選局パネル(P.86)から **デジタルTVメニュー** を選ぶ
- 3 **映像調整** を選ぶ

SDビデオ 再生中の場合

- 1 画面をタッチする
- 2 基本操作タッチキー(P.112)から **映像調整** を選ぶ

DVD 再生中の場合

- 1 画面をタッチする
- 2 基本操作タッチキー(P.94)から **設定** を選ぶ

iPodビデオ VTR 再生中の場合

画面をタッチする

2 **アスペクト切換** を選ぶ(下記)

- デジタルTV/DVD/SDビデオ/iPodビデオ/VTRの映像が調整できます。
- 表示される設定項目は、オーディオによって異なります。

3 **完了** を選ぶ

設定

ノーマル

4:3(横:縦)の画面(左右が黒くなる)



ワイド

映像が16:9になるように横方向に伸ばした画面

- iPodビデオ、VTRの場合は切り換えられません。



フル

映像が画面全体になるように横方向に伸ばした画面(どの位置も伸ばす比率は同じ)



ズーム

ノーマル画面の比率のまま、左右に合わせて伸ばした画面(上下が少しカットされる)

- デジタルTV、SDビデオの場合は切り換えられません。



■ お買い上げ時の設定について

お買い上げ時の設定は、オーディオによって異なります。

- ノーマル: VTR
- ワイド: デジタルTV DVD SDビデオ
- フル: iPodビデオ

- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。
- ワイドでない通常(4:3)の映像をフル・ズーム・ワイドで画面いっぱいに拡大すると、周辺の画像が一部見えなくなったり変形したりします。制作者の意図を尊重したオリジナル映像は、ノーマルでご覧ください。

音質・音場を調整する

1 オーディオ画面(再生画面・基本操作タッチキー)から**音響効果**を選ぶ

- 交通情報画面(P.93)では、操作できません。

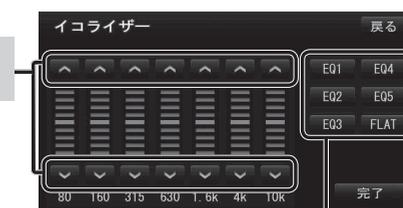
2 各項目を設定する(右記)



3 **完了**を選ぶ

■ 音の匠/DSPについて

- FM・AM・デジタルTV / SDビデオ と、CD・MP3/WMA・DVD・SDオーディオ・Bluetooth® Audio・VTR・iPod・USBオーディオで、別のDSPを設定できます。
- 音の匠とDSPを同時に設定することはできません。
例：FMをDSPの「CLUB」に設定し、iPodを音の匠の「快適メモリーミュージック」に設定することはできません。

項目	操作															
音場の設定や音声ダイナミックレンジを 圧縮 *1する ※1 ダイナミックレンジ圧縮 ノイズに埋もれない最小音と音割れしない最大音との音量差を圧縮し、小さい音声が大量の効果音などで消えないようにする機能です。	音の匠/DSP を選ぶ	音場の設定をするには 音場の設定を選ぶ [太字は、お買い上げ時の設定です] 「爽快ドライブTUNE」: 爽快なドライブに最適な設定 「快適メモリーミュージック」: iPod・SDオーディオ・USBオーディオの再生に適した設定 「いい音でスムーズトーク」: 車内で会話を楽しみつつ、いい音質で音楽を再生 「CLUB」 : クラブ風の音場 「THEATER」: 劇場風の音場 「STADIUM」: スタジアム風の音場 「音響効果OFF」: 設定OFF Compression を選ぶ ● 再度選ぶと、音声ダイナミックレンジ圧縮が解除されます。														
バランス/フェーダーの出力レベルを調整する	バランス/フェーダー を選ぶ	バランス/フェーダーを調整する ● 調整範囲[お買い上げ時の設定: 0(CENTER)] バランス(左右) : 7(LEFT)~0(CENTER)~7(RIGHT) フェーダー(前後) : 7(FRONT)~0(CENTER)~7(REAR)														
イコライザーを調整する ● 音場が「音の匠」のいずれかに設定されているときは、イコライザーを調整できません。	イコライザー を選ぶ	イコライザーを調整する 周波数帯域ごとのレベルを調整する ▲ ▼ で調整する ● 調整範囲: -4~±0~+4  調整値を登録する 周波数帯域ごとのレベルを調整し、 EQ1 ~ EQ5 を2秒以上タッチする ● FLAT には登録できません。 登録した調整値を呼び出す 呼び出したい設定を選ぶ ● FLAT : フラットな音質(全ての周波数が±0 dB) ● EQ1 ~ EQ5 : 登録した調整値を呼び出す 調整値をお買い上げ時の状態に戻すには FLAT を2秒以上タッチする														
[お買い上げ時の設定] <table border="1"> <thead> <tr> <th>設定</th> <th>音質のイメージ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>FLAT</td> <td>フラットな音質(全ての周波数が±0 dB)</td> </tr> <tr> <td>EQ1</td> <td>Rock: シャープでダイナミックなサウンドを再現</td> </tr> <tr> <td>EQ2</td> <td>Pops: 聞きやすくかつメリハリのあるサウンドを再現</td> </tr> <tr> <td>EQ3</td> <td>Bass_Boost : 低域を強調</td> </tr> <tr> <td>EQ4</td> <td>Treble_Boost : 高域を強調</td> </tr> <tr> <td>EQ5</td> <td>Vocal_Boost : 中域を強調</td> </tr> </tbody> </table>	設定	音質のイメージ	FLAT	フラットな音質(全ての周波数が±0 dB)	EQ1	Rock: シャープでダイナミックなサウンドを再現	EQ2	Pops: 聞きやすくかつメリハリのあるサウンドを再現	EQ3	Bass_Boost : 低域を強調	EQ4	Treble_Boost : 高域を強調	EQ5	Vocal_Boost : 中域を強調		
設定	音質のイメージ															
FLAT	フラットな音質(全ての周波数が±0 dB)															
EQ1	Rock: シャープでダイナミックなサウンドを再現															
EQ2	Pops: 聞きやすくかつメリハリのあるサウンドを再現															
EQ3	Bass_Boost : 低域を強調															
EQ4	Treble_Boost : 高域を強調															
EQ5	Vocal_Boost : 中域を強調															

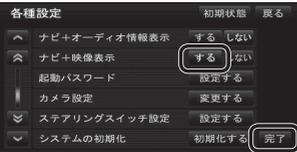
現在地画面にオーディオ映像を表示する

現在地画面に、デジタルTV、DVD、SDビデオ、iPodビデオ、VTR の映像を表示できます。

- 1 設定メニュー(P.21)から
各種設定を選ぶ

- 2 各種設定画面から
その他を選ぶ

- 3 ナビ+映像表示の**する**を選び、
完了を選ぶ



- 現在地画面にオーディオ映像が表示されます。



現在地画面からオーディオ映像を
消去するには

- 1 設定メニュー(P.21)から
各種設定を選ぶ

- 2 各種設定画面から
その他を選ぶ

- 3 ナビ+映像表示の**しない**を選び
完了を選ぶ



お知らせ

- 走行中は、オーディオ映像は消去され、現在地画面のみ表示されます。
地図上にオーディオ映像を表示させるときは、安全な場所に停車して、サイドブレーキを引いてご覧ください。
- 拡大図(P.28)表示中や地図モード画面(P.32)では、オーディオ映像は表示されません。
- 現在地画面のオーディオ映像は、表示位置やアスペクトの変更ができません。
- オーディオ映像が表示されている部分をタッチすると、映像が全画面表示され、オーディオの操作ができます。
- 現在地画面にオーディオ映像を表示中でも、オーディオの音量を調整できます。(他の操作はできません。)